

飛躍

TOKAI UNIVERSITY TAKANAWADAI JUNIOR & SENIOR HIGH SCHOOL

HIYAKU

第311号



東海大学附属高輪台高等学校・中等部 学校報

●発行日/2012年6月1日

●発行者/東海大学附属高輪台高等学校・中等部 校長・黒坂道生

「知性と品性、そして感性を」

若き日に汝の思想を培え

Cultivate your thoughts in your early days

若き日に汝の体躯を養え

Nurture your body in your early days

若き日に汝の智能を磨け

Develop your intellect in your early days

若き日に汝の希望を星につなげ Aim your hopes towards the stars in your early days

TOP*NEWS

野球部・柔道部 関東大会出場

校外活動(高校1年・3年) スポーツ大会(高校2年)



春季東京都高等学校野球大会決勝戦出場メンバー



関東大会出場の柔道部(女子団体)



新緑の湘南キャンパスでスタンプラリー
(高1 東海大学湘南キャンパス見学)



晴天の中、たくさん焼きました(高3 バーベキュー)

2012年度学校運営方針

2012年度は「重点目標」を5つ設定いたしました。今回は「2012年度重点目標」のうち(1)～(3)までをご紹介します。この3つは昨年度からの継続重点目標でもあります。

2012年度重点目標 PART.1 (PART.2は来月号に掲載します。)

1 学習と部活動の両立ができる生徒を育てる

現在、本校の部・同好会活動入部率は、中等部1年生が89%、高校第1学年が95%です。各部活動とも新しいメンバーが増え、活気のある活動を行っています。

昨年度の部・同好会活動は、東日本大震災の影響を大きく受け、十分な練習ができませんでした。大学に隣接していることで節電の制約が大きく、学校全体にまで響いてしまいました。そんな中、生徒諸君は現状を把握し、一人ひとりが協力合って生活を送りました。結果として、中等部吹奏楽部の東日本学校吹奏楽大会金賞をはじめ、高校吹奏楽部の全国吹奏楽コンクール銀賞、ヨットの世界選手権出場、ダンス部のミスダンスドリル全国大会出場などの成果を挙げました。今年度は、昨年以上に各部活動が新しい歴史を作り出してくれることを期待しています。

部活動には、常に結果がついてきます。しかし、勝つことだけが素晴らしいことではありません。そこに至るまでの過程が重要です。どんな練習をし、どんな試合においても全力を出し切ることができるかが大切です。普段から、今自分は何をなすべきかをよく考え、練習に励んでもらいたいと思います。

また、本校においては、部活動を頑張っている生徒諸君が学習面においても素晴らしい成績を修めています。これが本校の特徴であり、伝統になっています。高等学校と中等部の一貫教育の特徴を生かした「学習と部活動の両立」を実践し、最後まで全力で頑張りたいと思います。

2 いつでも、どこでも挨拶のできる生徒を育てる

本校の良き伝統は、誰に対してもきちんと挨拶ができることです。挨拶は、人が出会った時に交わす最初の言葉です。挨拶抜きにして、人と人のつながりはスムーズにいきません。在校生の皆さんの多くも、入学前に本校を見学した時に生徒諸君が在校生から挨拶を受けたのではないのでしょうか。中には、このような先輩方にあこがれて本校に決めてくれた人もいます。この素晴らしい伝統を今後も引き継いで欲しいものです。

3 教員は生徒に必要な学習内容を、授業時間内の工夫によって、十分理解させると共に、学習習慣を身につけさせる

誰にとってもわかりやすい授業を展開することは、重要なことです。教員は、アクティブボードの活用、公開授業・研究授業を実施、ベストティーチャー制による優れた授業の共有化などを通して、教育改革を推し進めます。

第8回 ベストティーチャー表彰(2011年度)

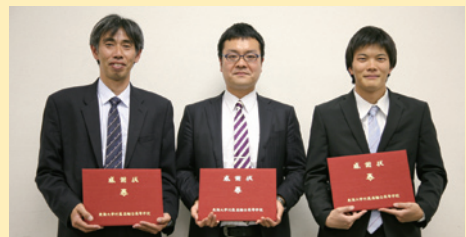
中等部タイプA 東出 葉月 先生(国語科)

高校タイプA 野々村 淳 先生(数学科)

佐藤 泰士 先生(英語科)

中高タイプB 岸井 祐貴 先生(数学科)

2011年度のベストティーチャー4名の教員が、第40回後援会総会の場で大谷謙太会長から表彰、賞金を授与されました。ベストティーチャー制度は教員のスキルアップを目指し、後援会のご協力により2004年度に発足した制度です。前期2回の生徒による授業評価アンケートのアベレージ上位中等部3名、高校6名の教員の授業を、全教員・保護者に見学していただき、総合評価の最も高かった中等部1名、高校2名がタイプAに、中・高で後中間までの3回の伸び率が最も高かった教員がタイプBとなります。今年度は中等部タイプAに東出葉月先生、高校タイプAに野々村淳先生と佐藤泰士先生が選ばれました。東出先生は昨年度タイプBを受賞されています。なお一度、ベストティーチャーに選ばれると3年間は選考の対象からはずれます。



左から、野々村先生、佐藤先生、岸井先生

中等部 1 学年 だより

早いもので中等部入学から2か月が経ちました。部活動を含め学校生活も本格化してきました。席替えや定期試験、校外活動など日々新しい体験を積み、学校生活の厳しさと楽しさを肌で感じ始めているのではないのでしょうか？今回は4月に行われた三保オリエンテーション合宿の感想を生徒に書いてもらいました。

大切な友達

亀田 和

1年A組 中野区立大和小学校出身

ぼくはオリエンテーション合宿で友達をつくって、3日間楽しく過ごそうと思っていました。ですが、家をはなれて静岡までいった合宿が最初はものすごく心配でした。なぜなら、この3日間で友達ができなかったら、1人でさびしく3日間を過ごすことになってしまうからです。また、友達ができなければ、笑顔もつけれないと思うしオリエンテーション合宿がいやになってしまうかもしれないと思ったからです。実際、友達はたくさんできて楽しく過ごすことができました。また、オリエンテーション合宿で僕が1番楽しみにしていたイチゴ狩りでは、たくさん食べようとしていたのに50個というあまり多くない数しか食べられませんでした。けれど友達と一緒にイチゴを選んで1つ1つ食べていったのが、おいしく感じたひとつの方法でした。

ぼくは、このオリエンテーション合宿3日間で、友達はなくてはならない存在だということを学びました。これから、充実した日々を送りたいと思います。

学んだこと

上田 悠

1年B組 世田谷区立中丸小学校出身

私はこのオリエンテーションで2つのことを学びました。

1つ目は、友達の大切さです。合宿は入学してすぐだったので、あまり友達がいない状況でした。そしていざ合宿になると、人の手をかりたい時がたくさんありました。でも、自分から「手伝ってください」という言葉があまり口に出せませんでした。そんな時に手をかしてくれたのが友達でした。その時はすごくうれしかったです。なので、私も友達がこまっていたら、手をかしてあげたいです。

2つ目は、自分のことは自分ですることです。合宿でとまった宿舎では、シーツのかたづけとかは自分でやるということになっていました。なので、最後の日の朝はシーツなどをかたづけることを考えて、少しテキパキうごいたりしました。そして、きめられたサイズにきれいにたたみました。それに、食事の後のおさらのかたづけ、残飯のかたづけも自分たちでやりました。1日目のかたづけは、人のことを考えないで、残飯をいれてしまって、二度手間になってしまいました。自分のことしか考えてなかったのが、これからは、人のことを考えていけたらいいと思いました。



ロープウェイで久能山東照宮へ!(A組)



自然史博物館のヘラジカと一緒に(A組)



100個以上食べた生徒も...(A組)



男子はまだ緊張気味?(B組)



鉄舟寺の桜と駿河湾をバックに!(B組)



最終日はイチゴ狩り!(B組)

中等部2学年だより

2年生になって初めての中間試験も無事に(?)終わって、日本科学未来館にも行ってきました。また生徒諸君の部活動で汗を流す姿を見かけることができるようになり、校内に本来の活気が戻ってきたような感があります。

今回は中等部2年所属で、皆さんの授業を担当している岸井祐貴先生と川嶋康太先生からメッセージをいただきました。

よろしくお願いします

中等部2年学年所属 岸井 祐貴

こんにちは。個人的にはあっという間に2か月が過ぎてしまいました。少し自己紹介しますと、私はラグビー部の顧問をしており、昨年は高校2年生に数学を教えていました。数学に関しては中学生のときは得意でしたが、高校ではあまり問題が解けず、好きでしたが苦手の教科でした。

私はTTを含め中等部生に教えるのは初めてですが、印象としては何よりも元気があり、そして素直な生徒が多いと感じています。特に、ときに不満を言いつつも多くの生徒が毎日の宿題を終えてくるため、今後の成長にとっても期待をしています。今後の抱負としては、生徒とよりコミュニケーションをとり、勉強面だけでなく学校生活等で悩んでいることがあれば、他の先生方とサポートをしていきたいと思います。多感な時期でもあるので、ときにはぶつかることもあるかもしれませんが、楽しくそしてときに厳しく生徒と接していければと思います。1年間よろしくお願いします。

1年前と今

中等部2年学年所属 川嶋 康太

1年前、自分たちが入学してきた頃のことを覚えていますか？ 新しい制服、新しい学校、新しいクラス、新しい先生や仲間たちとの出会い。全てが初めてで不安と期待が入り混じっていたあの時の気持ちを。私も1年前から教師として働くようになり、この学校にやってきました。1番最初に生徒の姿を目にしたのは、入学式に参加する前に教室で待つ君たちでした。この生徒たちを教えることになるんだと思うと、緊張と同時に楽しみで身震いがしたのを覚えています。最初の授業で元気な声で「こんにちは!」と挨拶してくれた時は、「やってやるぞ」という気持ちになりました。今考えると、あれがあったから今の自分があるのだと思います。

私はある意味、君たちと同じ2年生です。今年は去年1年間の経験を生かし、より良い自分になろうと思っています。君たちの今年の目標は何ですか？ 来年の今頃、去年よりも成長したと思えるように、お互い頑張っていきましょう。



火曜日の食堂利用



学級担任との面談



学年集会



プレゼンテーション準備に大忙し



川嶋先生も心配そうに



学級担任を交えて

中等部3学年だより

部・同好会活動

1年生から頑張ってきた中等部活動も最後の年となりました。運動系の部活動を中心に、最後の試合に向けて必死になっている生徒の姿が見られます。最終試合の後は引退し、高校の部活動に参加する道も開けます。また、文化系の部活動はそれぞれの発表の場を目標に、後輩たちを指導しながら頑張っています。そこで、今月号は各部活動の現在の様子を部長たちに語ってもらいました。

付属校とのつながり

鈴木 美咲

3年A組 川崎市立東住吉小学校出身

私は演劇部に所属しています。演劇部ではこれまで、高輪フェスティバルという定期公演、建学祭での発表を行い、高校では大会などに参加してきました。中等部は大会には出場できませんでしたが、役ではなく、スタッフなどに回り、できるだけ手伝いをしています。

今年は新たな取り組みとして、同じ付属高校の望星、浦安の部とコラボし、東海フェスティバルとしての公演を考えています。昨年は望星高校との2校での公演で、今年は浦安高校も交えた3校での公演となるので初の試みです。演劇部では、こうした付属校同士での企画をたてたり、互いの公演を見に行ったりなど関係を強めています。

建学祭や大会などで部全体が気をつけていることは、チームワークが乱れないこと。一見普通なことなのですが、演劇部ではそれぞれの準備での役割がすべて違うので常に意識します。普通を完璧にすることは、これからの活動でも重要になってきます。

仲間と共に

前田 哲平

3年B組 横浜市立旭小学校出身

僕は、ソフトテニス部に入り、たくさんの先輩たちや、先生方、さらに一緒に部活動をしていく仲間と出会いました。

2年の6月に、部長という大役を任せられ、最初は心配と不安でいっぱいでしたが、仲間の協力のおかげで、責任感を持つことができようになり、今では部長として皆を引っ張っていると思います。

その仲間とは、笑い合い、励まし合い、時にはライバルとなり、お互いを高め合いながら試合に向けて頑張ってきました。その結果、初の都大会団体戦にも出場することができました。目標を一つ達成することが自分の大きな可能性を広げているのだと感じています。

これからは、部活動以外でも今の仲間を大切にし、中等部3年生の学校生活を送っていこうと思います。

部長からのコメント

部活動	氏名	これまで頑張ったこと	残りの期間での目標
演劇部	鈴木 美咲	舞台上立つうえで必要なことを家でも練習した。	都大会進出
卓球部	大谷 洸貴	勉強と部活動の両立に力を注いだ。	都大会で全種目出場
サッカー部	鈴木 怜	校内での体カトレーニング	全国制覇
柔道部	北郷 颯	毎日部活動に参加するように頑張った。	都大会ベスト4
男子バスケットボール部	大谷 拓磨	部活動を休まず、朝練をして自ら課題を探した。	ブロック大会出場
剣道部	奥島 有騎	初段を取得した。	都大会出場
吹奏楽部	田中 理祥	コンクールや定期演奏会で精いっぱい頑張った。	東日本大会で金賞獲得
美術部	小原可奈絵	部員全員で協力しカレンダーを作成した。	みんなで協力し、合同作品を作る
ESS同好会	牧野 彩季	建学祭での出展	英語のスキルアップ
陸上競技部	岡田 拓海	都大会入賞	都大会ベスト8
女子バスケットボール部	新倉 彩子	毎年恒例の1日練習を頑張った。	港区1位になり都大会出場
物理化学部	澤崎浩太郎	下級生をまとめ、自分の研究を詳しく行った。	新しいロボットを作る
ソフトテニス部	前田 哲平	試合中でもテニスを楽しむようにした。練習中はボールに向かっていくように心がけた。	試合で今までのことをすべて出し切る

高校1学年だより

“高校生”という大きな一歩を踏みはじめた私たち。新たな400人の仲間と助け合い支え合いながら、笑顔の絶えない、そして何事にも一生懸命に取り組む積極的な学年にしていきたいと思ひます。

学年目標「つなげ400 笑顔の輪！」

早いもので3・11から1年という月日が過ぎました。あの日の出来事は今でも鮮明に覚えています。それまで、当たり前そこに存在していた人や建物があつという間に津波に飲み込まれ、押し流されました。今、私たちは恵まれています。人とのつながりほど大切なものはないと思ひます。この機会に今あるものに感謝して、400人、1人も欠けることなく笑顔で進級できるよう、級長会・学年で行動していきたいと思ひます。



1組「OHANA45～forever smile～」

私たちのクラスは、これからの1年間を充実して、1組のみんなが家族のように仲良く笑って過ごせるようにという思いを込めてこの目標にしました。クラスみんなで一致団結できるようにこれからの学校生活、気を引き締めていきたいです。

7組「㊤楽しく ㊤一生懸命 ㊤充実したクラス」

私たちのクラスは、自称おもしろい泰士先生のもとで1年間楽しく過ごすと共に、何事にも一生懸命取り組んで悔いのない充実した毎日を過ごしたいと思ひ、クラスみんなでこの目標に決めました。

2組「みんなで起こそう奇想天外」

この奇想天外とは、今まで起きたことのないようなことを起こしたいということです。体育祭やスポーツ大会、建学祭の知財グランプリや英語スピーチコンテスト等々、全ての行事で輝かしい成績を残すという意味を込めました。良い結果を出すためには、みんなで協力しなければいけません。さまざまなことをやり遂げることができるクラスにしたいと思ひます。

8組「団結∞(エイト)～45の明るい星たち～」

8組のクラス目標には、ケジメをつけつつ楽しみ、1人ひとりを尊重したクラスに1年間できていこうという考えが込められています。サブタイトルの方には、クラスの45人全員で進級しようという考えが込められています。まだできたてのクラスで左も右もわからないこともあるかとは思ひますが、“団結”して乗り越えていきたいです。

3組「皆で仲良く 最高に盛り上がるクラスにしよう」

今年の3組は“明るく楽しく”をモットーに、45人全員の笑顔があふれるクラスを目指します。1人ひとりが勉強や部活動に勤しみ、行事などでは他のクラスに負けないぐらいに団結して、盛り上げていきたいと思ひます。

9組「当たり前のことを当たり前」

私たちのクラスは当たり前のことを当たり前に行えるクラスにしたいです。勉強のときはしっかりとけじめをつけて取り組む、クラスの仲間に思いやりを持って接するなどのことを、当たり前に行えるようにしていきたいです。

4組「自分のことより人のこと」

自分のことはもちろん大切ですが、学校では自分1人で生きているわけではありません。忘れがちですが、周りのみんなに支えられて、今こうして僕たちは楽しく暮らしているのです、お互いが思いやり合って生活することを大事にしていかなければならないと思ひます。

学年委員会(級長会)メンバー

委員長	小川 沙麗	鈴木 結里	仲谷 武帥
副委員長	橋爪 瑠菜	松本みさき	吉村 彩

	級長	副級長	副級長
1組	菅田 莉奈	川上 真由	坂口 亮太
2組	橋爪 瑠菜	小澤 景	益戸 壺成
3組	小川 沙麗	福島 琴乃	菅原 重騎
4組	小俣 雅也	喜多 陽平	福澤 友
5組	鈴木 結里	田邊 亮介	服部やよい
6組	廣瀬 敦	大木まさみ	吉川 春奈
7組	谷川 千尋	松川 来海	山元 嶺
8組	仲谷 武帥	松本みさき	吉村 彩
9組	浅山 和輝	手塚 梨紗	柳澤 優吏

5組「仲良くなるまで帰れま5!!」

私たちのクラスは男・女関係なく仲のいいクラスを目指しています。この4月に初めて会った仲間と、これから1年間を通して共に笑い、共に努力をしていくためには、まずみんなの仲がよいクラスをつくっていかねばいけません。“5組らしいクラス”とはどんなクラスなのか、1つ1つステップを踏んで45名全員が1つになりたいと思ひます。

6組「明るく仲良く楽しいクラス」

私たちのクラスは、全員が毎日笑顔を忘れずお互いを尊重し合いながら、どのクラスよりも充実した学校生活を送れるようにしたいです。勉強、部活動、学校行事と何においても1人ひとりの個性を生かし、全力で取り組んで一生忘れられない最高の1年間にしたいです。

高校2学年だより

スポーツ大会(埼玉グラウンド)

5月12日(土)第2学年のスポーツ大会が実施されました。新しいクラスとなり初めての行事、去年は雨天のため埼玉グラウンドでのスポーツ大会は実施されませんでした、今年は楽しみに待っていた生徒の思いが通り、快晴のもとでの実施となりました。自分のクラスを必死に応援する姿やチームが一丸となって戦う姿が随所にみられ、クラスの絆が強まった一日となりました。今回は総合優勝した6組、準優勝の3組の生徒にスポーツ大会を振り返ってもらいました。

優勝：6組

吉弘 雄太

世田谷区立八幡中学校出身

5月12日、晴天の下にスポーツ大会が開催されました。クラスの皆は、総合優勝を狙って本気で取り組んでいました。はじめのクラス対抗リレー予選で惜しくも落ちてしまいました。しかし、5組の失格により繰り上げで、予選を通過することができました。そして、サッカーは、皆の頑張りにより3位入賞することができ、野球では野球部と経験者の活躍により優勝することができました。また、女子のドッジボールは、みんなのやる気で、判定勝ちから始まり優勝するところまでいきました。最後のリレーでは、あまり良い結果は得られなかったものの、総合優勝をすることができました。優勝をみんなで喜び合うことができ、一人ひとりの絆が深まり、クラスとして団結できたと思います。これからも仲の良い6組を築いていきたいと思っています。

準優勝：3組

澤山 健人

千代田区立神田一橋中学校出身

今回のスポーツ大会はレディー・ガガのコンサートで賑わう、さいたま新都心のグラウンドで行われました。最初はあまり気乗りがせず、面倒に感じる人もいました。しかし、競技が始まるとみんなのテンションが上がり、それもあってリレーの予選をトップで通過することができました。その後もいろいろな競技が行われましたが、男女共に大健闘だったと思います。特に女子は少ない人数ながらみんなで協力し合い、出場したすべての種目で2位になるなど、絶好調でした。最後のリレー決勝では男女が一丸となり、惜しくも1位は逃しましたが3位になることができました。今大会では3組は総合2位でした。みんな喜んでいましたが、やっぱり1位になりたかったです。次のスポーツ大会では1位を目指して頑張りたいと思います。



高校3学年だより

第3学年は、最上級生としてさまざまな場面で学校を盛り上げていきます。でも、学校を盛り上げるためにはまず学年、クラスから。そこで、今月は学年目標と各クラスの目標を紹介します。

学年目標 全力疾走 ～勉強・部活 ときどき ドキドキ～

クラス目標

1組 : Believe in yourself and your classmates

この意味は、「自分を信じて、クラスメートを信じろ」です。この先いろいろと困難が待ちかまえていると思います。その中でも自分を信じ、そして身近にいつも接しているクラスメートを信じて乗り越えていこうという思いが込められています。

級長 有田 泰介
副級長 高田 拓海
竹村 望

2組 : 最上級生としての自覚

ついこのあいだ高輪台高校に入学したと思っていたら、もう2年が経過してしまいました。学校を変えていくためには、3年生がお手本になることが大切です。泣ける卒業式で1年を締めくくることができるかどうかは、最上級生としての自覚があるかどうかです。1年間全力で頑張ります。

級長 松下 慶勝
副級長 佐藤 菜実
恩地 祥博

3組 : 卒業まで仲良く笑顔で! 高校ラストの思い出を作ろう☆

3組は、高校生として過ごせる最後の1年間を思いっきり楽しむ!ということを目指しました。最上級生としての自覚を持ちつつ、1日1日を存分に楽しみながら充実した学校生活を送れるクラスにしたいです。授業と休み時間の教室や学校行事で、最高の思い出を作りましょう!

級長 小林 隼人
副級長 森本 優希
水野 和希

4組 : 青春の集大成。感謝と思い出を忘れない。

2年前の今日、君は何をした?なんて覚えていないだろう・・・日々の思い出なんてそんなものだ。では、感謝は?思っても言葉にしなければ駄目だ。「青春の集大成」何気ないけどかけがえない毎日に友達、先生、家族への感謝を込め、残りの日々を過ごそう!

級長 倉崎 恋平
副級長 久保田夏帆
川辺 哲也

5組 : ④未来をつくる ③ずるをしない ⑥思い出を素晴らしいものに ⑤地球に愛を

ラスト1年なので、担任の水落先生の名前から目標を考えました。将来のためにも今何をすべきかを考え、思い出に残るクラスにするためにこの目標にしました。

級長 田島 健太
副級長 佐孝麻莉奈
石倉 賢一

6組 : Noblesse oblige

私たち3年6組の目標は“Noblesse oblige”で、「高い身分に伴う義務」という意味です。今年は高校最上級生になり、下級生に対して模範となれるような規律ある学校生活を送れるクラスにしたいです。それが高校3年生としての義務だと思います。

級長 田島 修平
副級長 丸山沙佳子
渡部 桜

7組 : 道を切り開くのは自分の心

この目標は、勉強や部活動などにおいて厳しい状況になっても自分の力を信じてあきらめずに頑張ろうという意味です。卒業までの一年間を一日一日悔いなく大切に、そして笑顔で楽しく自分たちらしく過ごせる7組を目指したいと思っています。

級長 清水 孝紀
副級長 後藤 正子
金子 隆浩

8組 : 勤儉尚武(きんけんしょうぶ)

私たちは最上級生として勉学に努め励み、部活動もしっかりとできる皆の模範になるようなキラキラなクラスにしたいです。残りの学校生活を有意義で楽しく過ごせるようにし、仲良く皆で卒業するのが目標です!

級長 木内 一希
副級長 田村 祥子
小林 厚

9組 : エコキャップ10000個

僕らのクラスは運動神経があまり良くないので、スポーツ大会では一番になれません。しかし、何かで一番になりたい。そこで3年9組が目につけたのがエコキャップです。10000個という他クラスを一切寄せ付けない個数を目指して3年9組は全力で団結していきます。

級長 星 和樹
副級長 中美 麻暉
牧口 隆平

10組 : 一致団結 ～思いやりを持ってけじめをつけよう～

高校生活最後の一年なので、今まで以上にクラス全員でイベントや行事を盛り上げていきたいと思っています。そして、授業ではけじめをつけ、他人に思いやりのあるクラスにしたいです。そして、23人全員笑顔で卒業したいです。

級長 佐野 杏
副級長 清田 彩愛
足立 宏義

SSH活動報告

1年SSHクラスで「日本語プレゼンテーション」の授業が行われました。第1回目は、JST科学コミュニケーションセンターの井上徳之先生にプレゼンテーションについて学びました。第2回目は、日本科学未来館でプレゼンテーションの実践をしました。2・3年SSHクラスの生徒たちが、TA（ティーチングアシスタント）として1年生をサポートしています。1年生もTAの生徒もこの活動を通して、プレゼンテーション能力を向上させてほしいです。

見て知る、聴いて知る。

國武 正太

1年9組 江戸川区立小岩第二中学校出身

私は、初めて「日本語プレゼンテーション」の授業と日本科学未来館での見学・プレゼンテーションの実践を行いました。授業では、井上先生と先輩方がわかりやすく教えてくださいました。井上先生の教え方は、「やりたい!」という気持ちが湧き上がるようでとても楽しい授業となりました。先輩方は、私たちがどうすればよいかわかっている時に率先してやさしく教えてくださいました。先生・先輩方のお陰で、短い時間の間に相手に伝えるための表現をたくさん学ぶことができ、とても充実した時間でした。

また、教わったことを日本科学未来館で同じ班の生徒に発表しました。内容は、館内にある展示物を使っての発表でしたが、書いてあることをそのまま言うだけでなく、周りにいる研究者やボランティアの方々に詳しい情報を聞き、興味をもった展示物について、知識を深めました。発表の時、班のみんなが目を輝かせて“こんなことを調べました!”とハキハキ話していました。自分から知識を得ることも、その情報を人に伝えて知識の輪を広げることも大事なので、たくさんの方を知りたいと思っています。



プレゼンテーションのスキルを学びます



みんなにうまく伝わってるかなあ

TAとして

元澤 佑斗

2年9組 三鷹市立第五中学校出身

今回、僕はTAとして日本語プレゼンテーションの校外活動に参加しました。去年は先輩たちにプレゼンテーションの技術などを教えてもらったので、同じように1年生を指導できたらよいなと思いTAを希望しました。

TAという立場で校外活動に参加したのは初めてです。去年は日本科学未来館に行けなかったため興味があった反面、去年教わったことがきちんと受け継いで生かしていけるか不安でした。はじめは、きちんと1年生に指示が伝わっているかどうかなどとても心配なことが多かったのですが、1年生が積極的にいろんなことを聞いてくれたお陰で自分自身もとてもスムーズに教えることができました。

今回の活動を通して、TAの難しさと楽しさを学びました。人に指示をするには、まず自分が流れなどを理解していないとできません。しかし、きちんと指示が伝わりプレゼンテーションがうまくなった1年生を見てうれしくなりました。これからも3年生のTAの先輩と協力して、1年生が円滑に活動できるようにサポートしていきたいと思っています。

サイエンス基礎

この授業は、1年SSHクラスが木曜日の6・7時間目に行っています。この授業の目的は、科学技術教育に必要なとなる生徒の基礎力を育成することです。将来、日本の科学技術を担う人材には基礎力が必要です。ここでいう基礎力とは、最先端の科学技術やものづくりに関する「情報収集力」や「職業理解力」、「論理的思考力」ならびに情報を発信するための「日本語プレゼンテーション力」や「読み書き力」のことです。これらの能力を育成するために、右の4本の柱で授業を進めていきます。

①日本語プレゼンテーション

日本語によるプレゼンテーションの仕方等の基本学習を行い、発表能力を身につける。

②リベラルサイエンス

科学技術の先端領域やものづくりをテーマにしたユニット学習(大学・研究機関、企業訪問等)を実施し、科学技術や自然のしくみに触れながら興味と関心を深め、疑問を見つけるトレーニングをする。

③実験数学

生徒主体型の実験的授業を通して、探究心や問題解決能力を育成するユニット学習を行う。

④国語表現演習

レポートや論文を作成するにあたっての読み書き能力を養う。

憲法記念講演 子どもの人権救済の現場から

憲法記念日にちなみ、5月10日(木)に本校アリーナで、恒例行事の「憲法記念講演」を高校1年生を対象に行いました。ホームルーム活動の時間を延長して1・2時間目に、弁護士の坪井節子先生から、いじめ・虐待・少年犯罪に巻き込まれている子どもたちの実情と、「カリヨン子どもセンター」の支援活動についてビデオを交えてお話いただきました。坪井先生がこれまで関わってこられた生々しい現場の実例を交えたお話は、あらためて「子どもの人権」について考える機会となりました。



講演を聞いて思ったこと、感じたこと 鈴木 結里

1年5組 横浜国立大学教育人間科学部附属鎌倉中学校出身
今日の講演を聞いて、たくさんのことを考えさせられました。その中で一番印象に残っていることが、親からの虐待やひどいいじめについてです。どちらにしても、誰にも相談できない状況がつくられてしまうことが本当に残念です。しかし、それを聞いてくれる人がいると少しずつ

つ心を開いてくれるとおっしゃっていた弁護士さんのような方々が私たち・子供を見守ってくださると、少しずつその環境も改善しているのではないかと思います。今日、熱心な弁護士さんのお話を聞いて、私も罪のない子供たちを救いたいという気持ちになりました。一生懸命、子供と向き合っている弁護士さんの姿は、本当にかっこよかったです。私も困っている人や悲しんでいる人のために、自分の力を尽くすことができる大人になりたいです。

TOKAI キャンパスメッセージ

今回はハワイ東海インターナショナルカレッジからコラボメッセージをお届けします。

「英語で」学ぶ2年間

Hawaii Tokai International College

International Programs Director 矢部 ドミンゴ 久美子

皆さんはHawaii Tokai International College (HTIC) って何の学校だと思えますか。米国ハワイ州にあるので、英語を勉強する学校と思う方もいらっしゃるかもしれませんがね。

HTICは、米国西地区学校・大学協会の基準認定を受けた短期大学です。キャンパスがあるホノルルは、米国本土、アジア、太平洋諸島の文化が多様に混在する太平洋の中心地。米国本土やハワイから来る学生には、HTICを通して日本やアジアへの理解を深め、日本やアジアから来る学生にはHTICを通してハワイ、アメリカや西洋への理解を深められる場所です。短期大学では芸術学、人文学、言語、社会科学、自然科学、数学といったさまざまな学問領域

の素養を身につけます。ハワイの多文化の環境で勉強しながら、米国の短期大学士(教養)を取得し、東海大学をはじめとする日本の大学や米国本土の4年制大学に編入するという可能性が広がります。

短期大学で勉強する前に必要な英語力や学習スキルを修得するために、5つのレベルに分かれた予科(College Preparatory Program)が用意されています。米国ならではの参加型の授業や課題の多さなどで鍛え上げられながら、大きく成長した先輩方がたくさんいるのもHTICの特徴でしょう。

大学の最初の2年間をしっかりと「英語で」勉強したい方、アメリカの4年制大学に編入して卒業したいと思っている方々にぴつ

たりの短期大学です。

来月修学旅行でハワイに来る2年生諸君、ハワイは文化的にも歴史的にもとてもおもしろい場所です。そのおもしろさを体験できるように、しっかり事前学習をしてきてくださいね。See you in Hawaii!



HTICで私が得たもの

HTIC本科(高輪台高校2010年3月卒業) 来間 美加子

HTICの予科に入学当初、私は英文を理解できない、英会話ができないなど、できないことばかりでした。ですが、予科の授業を通して、英語の基礎が身につく、自分に合った勉強法を見つけることもできました。そして本科では、社会学や科学などたくさんの分野の授業を受けるので、勉強に対する視野が広がり、HTIC卒業後のプランにも大きく影響をしました。また、予科と本科の両方とも、ほぼ毎日宿題が出るので、睡眠時間を削らなければならない時もあります。私は、勉強に対するやる気がなかなか出ない性格だったのですが、毎日勉強に追われる厳しい環境の中にあることで、短時間で集中して勉強することができ

るようになりました。もしも宿題のない学校生活を送っていたら、今ほど英語力は伸びなかったと思います。

勉強以外にも、ポリネシアンクラブで週2回フラダンスを学び、ホノルル市民吹奏楽団に入って週に1回地元の人たちと一緒に演奏をしています。勉強と課外活動の両立は忙しいですが、とても楽しく充実した毎日を送っています。もちろん活動中の会話は、ほとんど英語です。ハワイの人たちはとても優しくてフレンドリーなので、出会った当初から私の片言の英語でも理解しようとしてくれました。人見知りな私ですが、「もっと会話力を上げて交流を深めたい」と心から思うようになり、

自ら英語で話しかけることができるようになりました。この留学を通して、英語力だけでなく積極性や向上心が身についたのは、ハワイでさまざまな経験ができたからこそだと思います。



右から3番目が来間さん

お知らせ

高校2年生 研修旅行 6月21日(木)～26日(火)

どのコースも思い出をたくさん作ってきてください!

- 北海道コース ○沖縄コース ○ハワイ 研修コース・ホームステイコース
- オーストラリア 研修コース・ホームステイコース

研修旅行期間中、中等部・高1・高3は4時限授業、臨時時間割になります。

第4回中等部体育祭

中等部1・2・3年

6月22日(金)

スポーツ大会

高校1年

6月23日(土)

高校3年

6月25日(月)

さいたま総合グラウンド、雨天時本校アリーナにて ※運動靴・お弁当・飲み物を忘れないように!

行事予定

June 6月

July 7月

- 1日(金) 朝礼[正制服着用] 45分短縮授業
- 2日(土) 後援会委員総会
- 5日(火) 剛健健診(中等部・高1・高2)
- 6日(水) 剛健健診(高2・高3)
- 7日(木) 東海大学進学説明会(高2 1時限)
- 8日(金) 漢字検定(希望者)
- 9日(土) 英語検定(中2・中3、高校希望者)
- 12日(火) 校医相談日
- 13日(水) 専門医によるカウンセリング
- 14日(木) 学年集会(高2)
- 16日(土) 保護者会(中1・高1)
- 21日(木) 研修旅行(高2:オーストラリア・ハワイ・沖縄・北海道 ~26日) 4時限授業(中等部・高1・高3 ~27日)
- 22日(金) 第4回中等部体育祭(さいたま総合グラウンド)
- 23日(土) 高校1年スポーツ大会(さいたま総合グラウンド)
- 25日(月) 高校3年スポーツ大会(さいたま総合グラウンド)
- 27日(水) 振替休日(高2)
- 30日(土) 後援会学年懇談会

- 1日(日) 中等部受験生・保護者学校見学説明会(1回目)
- 2日(月) 朝礼[正制服着用] 45分短縮授業
- 4日(水) 月曜日の授業
- 5日(木) 剛健旅行準備(1時限)
- 7日(土) 高校受験生・保護者学校見学説明会(1回目) 中等部水泳実習1回目(湘南キャンパス) 湘南キャンパス等学科内定者説明会(特別奨励・特別技能・特別学力)
- 8日(日) 高輪キャンパス学科内定者説明会(特別奨励・特別技能・特別学力) 英語検定二次試験
- 11日(水) 剛健旅行開会式(7時限)
- 12日(木)・13日(金) 第44回剛健旅行(群馬県吾妻郡嬭恋村 東海大学嬭恋高原研修センター周辺)
- 16日(月) 海の日
- 17日(火) 剛健旅行閉会式(45分短縮授業)
- 18日(水) 金曜日の授業
- 20日(金) 午前中授業(4時限) 午後:夏期休暇前諸注意・大掃除
- 31日(火) 学園オリンピック文化部門 [国語・数学・英語・造形・理科・知財・ディベート] ~8/5

校外活動(高校3年生)



編集後記

先月5日、北海道泊原発が定期検査のため停止し、これで国内すべての原発が停止状態に入った。このままできると、夏のピーク時に電力不足が見込まれる関西をはじめ北海道・四国・九州の各電力会社で、節電に加え「計画停電」の準備が進められることになった。「計画停電」といえば、昨年3月福島原発事故直後に実施されたときの不便な生活を思い起こす方も多いだろう。今回の「計画停電」は、皮肉なことに東京・東北電力管内ではなく、事故とは直接関係のない地方で予定されている。いま、新電力への切り替えの期待が高まりつつある。(か)

東海大学付属高輪台高等学校・中等部

TEL.03(3448)4011 FAX.03(3448)4020 ホームページ:http://www.takanawadai.tokai.ed.jp/